

第65期事業報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要な場合はあらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	東京都府中市日鋼町1番10 (〒183-8701) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	〈住所変更等用紙のご請求〉 ☎0120-175-417 〈その他のご照会〉 ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所市場第二部



本社 〒600-8491 京都市下京区室町通四条南入 鶏鉾町493番地
TEL (075) 361-0381 (代表) FAX (075) 371-0171
<http://www.moonbat.co.jp>



ムーンバット株式会社

証券コード：8115

株主の皆様へ



代表取締役社長

中野 誠 一

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別なるご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。
ここに、当社グループ第65期事業報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、企業収益の改善を背景に、株価・賃金の上昇、設備投資の増加、不動産価格も大都市の都心部を中心に上昇または横ばいとなるなど景気は回復傾向が見られ、個人消費ももち直しつつあります。

当社グループの主要販売先である百貨店の売上高は、9年ぶりに前年比増加に転じ、売上高減少に歯止めがかかりました。一方、チェーンストアにおきましては、依然として売上高の減少傾向が止まるに至っておりません。

このような環境下、当社グループでは引き続きお客様のニーズに合った商品を迅速かつ機動的に提供できるものづくりと、「質」「効率」重視による収益体質の構築、さらには資産効率の改善に邁進いたしました。

売上高につきましては、11月中旬からの急激な寒波到来という好材料もあり、毛皮部門の毛皮事業及び洋品部門の洋品毛皮事業といった防寒対応商品の分野におきまして売上高が伸長する一方で、10月までの猛暑の影響により洋品部門の洋品事業におきまして秋冬物商戦の立ち上がり時期の販売が伸び悩んだこと、天候要因による洋傘・レイングッズの不振、及び宝飾品部門のアクセサリ事業におきまして不採算店の撤退を進めたこと等を主因といたしまして、連結売上高は、153億13百万円と前年比4.3%の減収となりました。収益面では、当連結会計年度より新たに季節性のある商品を対象とする返品調整引当金の引当を実施いたしましたことにより粗利益の押し下げ要因となりましたが、事業の一層の効率化を進めた結果として、粗利益率は前年比0.5%改善され、販管費も前年比2億31百万円圧縮できましたことから、経常利益は5億16百万円と前年比8.9%の増益となりました。当期純利益は、当上半期に固定資産の減損会計を導入したこと並びに遊休資産の売却等による特別損失を計上したことを主因といたしまして、4億95百万円の損失となりました。

本年度につきましては、景気回復基調が続き、個人消費も堅調に推移するものと予想される一方で、毛皮の高級素材原皮や洋傘・パラソル等の原材料の高騰、海外生産にかかる工賃の上昇など、コスト高が懸念されます。また、価格の二極化の拡大に伴い、高価格帯から低価格帯に至るまで、お客様のニーズに対応した商品の提供が求められています。

かかる環境下、当社グループは、お客様のニーズに即応した質の高いものづくりを一段と推進し、販売シェアの拡大に努めるとともに、さらに徹底した経営の効率化により、安定的な収益を維持できる企業基盤の構築に取り組む所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

<部門別業績>

(洋傘部門)

当連結会計年度の売上高は、60億22百万円、前年比4.6%の減収となりました。

洋傘・レイングッズ市場は、上期は比較的降雨に恵まれて雨傘が好調に推移しましたが、逆に下期の10～12月は大変苦戦いたしました。

パラソル市場では、猛暑であった前年ほどには天候に恵まれず、伸び悩みました。

その中で当社グループは、新ブランド「キャシャレル」を導入するなど、業界のトップ企業として市場への新鮮な商品企画の提案を行い販売力強化に努めました結果、主要販売先である百貨店における当社販売シェアは若干拡大したものの、前年の売上高には及びませんでした。

(洋品部門)

当連結会計年度の売上高は、47億92百万円、前年比1.2%の減収となりました。

洋品市場は、秋冬物商戦の立ち上がり時期である8～10月の猛暑、11月中旬からの急激な寒波到来など天候不順の影響を大きく受けました。

その中で当社グループは、防寒対応商品であるカシミヤのマフラー・ストールの販売に注力しましたが、年間の主要な販売時期である秋冬物の立ち上がり時の販売不振要因も大きく影響し、主要販売先である百貨店における当社販売シェアは若干拡大したものの、前年の売上高には及びませんでした。

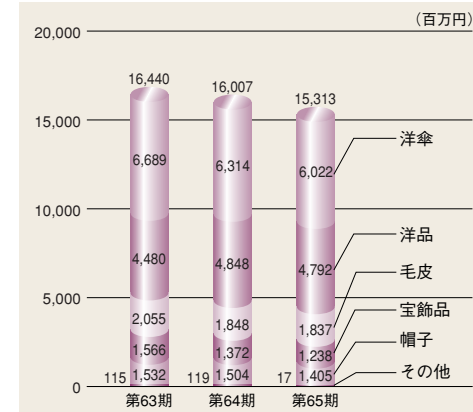
洋品毛皮市場は、洋品毛皮に対するトレンドが回復し、市場規模が広がる中、防寒アイテムとしての毛皮小物も販売が好調であった結果、前年比29.1%の増収となりました。

(毛皮部門)

当連結会計年度の売上高は、18億37百万円、前年比0.6%の減収となりました。

毛皮市場は、昨年に引き続き多くの雑誌媒体で取り上げられるなど、毛皮アイテムがトレンドとして注目されました。

事業部門別の売上高と構成比の推移



当社グループの営業成績及び財産の状況の推移

区 分	第62期 (平成15年3月期)	第63期 (平成16年3月期)	第64期 (平成17年3月期)	第65期 (当連結会計年度) (平成18年3月期)
売上高(百万円)	17,717	16,440	16,007	15,313
経常利益(百万円)	367	364	474	516
当期純利益(百万円)	184	215	234	△ 495
1株当たり当期純利益(円)	6.91	8.08	8.79	△ 18.60
1株当たり純資産(円)	185.80	197.36	204.48	184.39
純資産(百万円)	4,958	5,265	5,451	4,913
総資産(百万円)	22,020	21,482	20,060	17,629

財務諸表の概要 (連結)

●連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)	科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	9,923,071	10,542,748	流動負債	6,325,013	7,087,472
現金及び預金	1,850,107	1,805,165	支払手形及び買掛金	1,967,203	1,913,469
受取手形及び売掛金	4,156,334	4,297,152	短期借入金	2,402,993	2,965,491
たな卸資産	3,169,686	3,740,981	社債(1年以内償還予定)	1,460,000	1,670,000
前渡金	175,796	114,720	未払金	226,541	227,139
短期貸付金	149,132	212,385	未払法人税等	20,874	32,686
その他	478,811	429,293	未払消費税等	11,704	82,037
貸倒引当金	△ 56,795	△ 56,951	未払費用	43,293	42,972
固定資産	7,682,839	9,503,211	賞与引当金	135,264	119,267
有形固定資産	4,556,063	6,301,893	返品調整引当金	20,024	—
建物及び構築物	631,541	965,104	その他	37,115	34,408
機械装置及び運搬具	11,340	17,719	固定負債	6,391,160	7,521,702
工具器具備品	86,856	127,158	社債	3,280,000	2,990,000
土地	3,826,325	5,191,910	長期借入金	2,835,324	4,191,318
無形固定資産	22,338	14,800	繰延税金負債	617	219
電話加入権等	22,338	14,800	退職給付引当金	252,165	211,125
投資その他の資産	3,104,437	3,186,517	その他	23,053	129,040
投資有価証券	93,372	107,509	負債合計	12,716,173	14,609,174
長期貸付金	330,022	331,725	資本の部		
敷金	434,410	432,101	資本金	3,339,794	3,339,794
保証金	2,167,195	2,212,539	資本剰余金	1,039,578	1,039,578
その他	181,804	183,074	利益剰余金	541,609	1,077,562
貸倒引当金	△102,368	△ 80,433	株式等評価差額金	904	320
繰延資産	24,066	14,446	自己株式	△ 8,081	△ 6,023
社債発行費	24,066	14,446	資本合計	4,913,804	5,451,232
資産合計	17,629,978	20,060,407	負債及び資本合計	17,629,978	20,060,407

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
(経常損益の部)		
営業損益の部		
売上高	15,313,230	16,007,928
売上原価	9,311,406	9,814,092
販売費及び一般管理費	5,225,744	5,456,774
営業利益	776,080	737,061
営業外損益の部		
営業外収益	125,348	188,338
受取利息及び配当金	11,725	14,258
雑収入	113,623	174,080
営業外費用	384,733	451,052
支払利息	173,537	212,719
雑損失	211,196	238,333
経常利益	516,695	474,347
(特別損益の部)		
特別利益	88,356	13,907
固定資産売却益	86,612	—
投資有価証券売却益	1,683	12,783
その他	60	1,123
特別損失	1,074,061	240,291
固定資産売却損	891,291	—
固定資産除却損	12,806	48,019
投資有価証券評価損	15,971	5,769
貸倒引当金繰入額	21,634	21,353
商品処分損	83,772	102,696
役員退職慰労金	—	7,015
支店移転費用	—	38,003
減損損失	37,751	—
その他	10,832	17,433
税金等調整前当期純利益、または 税金等調整前当期純損失(△)	△469,009	247,962
法人税、住民税及び事業税	26,956	13,533
当期純利益、または当期純損失(△)	△495,965	234,429

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	1,039,578	1,039,578
資本剰余金期末残高	1,039,578	1,039,578
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	1,077,562	883,148
利益剰余金増加高	—	234,429
当期純利益	—	234,429
利益剰余金減少高	535,953	40,015
配当金	39,987	40,015
当期純損失	495,965	—
利益剰余金期末残高	541,609	1,077,562

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,045,575	890,724
投資活動によるキャッシュ・フロー	915,473	364,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,916,106	△1,106,717
現金及び現金同等物の増加額	44,942	149,000
現金及び現金同等物の期首残高	1,805,165	1,656,164
現金及び現金同等物の期末残高	1,850,107	1,805,165

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表の概要（単体）

●貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)	科目	当期 (平成18年3月31日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	9,883,156	10,582,639	流動負債	6,341,954	7,101,877
現金及び預金	1,827,486	1,772,939	支払手形及び買掛金	1,997,747	1,983,653
受取手形及び売掛金	4,152,465	4,325,013	短期借入金	2,402,993	2,929,491
たな卸資産	3,033,133	3,637,299	社債(1年以内償還予定)	1,460,000	1,670,000
その他	927,105	904,543	賞与引当金	134,000	118,000
貸倒引当金	△ 57,035	△ 57,157	返品調整引当金	20,024	—
固定資産	7,758,936	8,879,170	その他	327,189	400,732
有形固定資産	4,553,481	5,150,416	固定負債	6,389,644	6,929,532
建物及び構築物	631,541	610,877	社債	3,280,000	2,990,000
機械装置及び車両運搬具	8,757	10,244	長期借入金	2,835,324	3,700,718
工具器具備品	86,856	126,972	退職給付引当金	250,649	207,481
土地	3,826,325	4,402,321	その他	23,670	31,333
無形固定資産	21,017	12,236	負債合計	12,731,598	14,031,410
投資その他の資産	3,184,437	3,716,517	資本の部		
投資有価証券	93,372	107,509	資本金	3,339,794	3,339,794
子会社株式	80,000	530,000	資本剰余金	1,039,578	1,039,578
長期貸付金	330,022	331,725	資本準備金	1,039,578	1,039,578
敷金	434,410	432,101	利益剰余金	562,366	1,071,176
保証金	2,167,195	2,212,539	任意積立金	—	200,000
その他	181,804	183,074	当期末処分利益	562,366	871,176
貸倒引当金	△ 102,368	△ 80,433	株式等評価差額金	904	320
繰延資産	24,066	14,446	自己株式	△ 8,081	△ 6,023
資産合計	17,666,160	19,476,256	資本合計	4,934,561	5,444,845
			負債・資本合計	17,666,160	19,476,256

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
(経常損益の部)		
営業損益の部		
売上高	15,284,599	15,883,375
売上原価	9,352,635	9,855,499
販売費及び一般管理費	5,154,304	5,326,388
営業利益	777,659	701,487
営業外損益の部		
営業外収益	137,091	200,922
営業外費用	382,093	437,670
経常利益	532,658	464,738
(特別損益の部)		
特別利益	1,743	13,902
特別損失	993,224	237,638
税引前当期純利益、または 税引前当期純損失(△)	△ 458,822	241,003
法人税、住民税及び事業税	10,000	10,000
当期純利益、または当期純損失(△)	△ 468,822	231,003
前期繰越利益	1,031,188	640,173
当期末処分利益	562,366	871,176

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●利益処分

（単位：円）

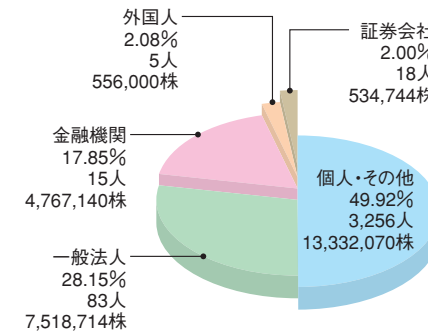
科目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
当期末処分利益	562,366,010	871,176,186
任意積立金取崩額	—	200,000,000
合計	562,366,010	1,071,176,186
これを次のとおり処分いたします。		
株主配当金 (1株につき1円50銭)	39,971,574	39,987,442
次期繰越利益	522,394,436	1,031,188,744

株式の状況（平成18年3月31日現在）

- 発行する株式の総数 60,000,000株
- 発行済株式の総数 26,708,668株
- 株主数 3,377名
- 大株主の状況

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	所有株式数 千株	出資比率 %	所有株式数 千株	出資比率 %
株式会社ニード	4,390	16.43	—	—
大阪証券金融株式会社	1,383	5.17	—	—
株式会社三井住友銀行	1,210	4.53	—	—
ムーンバット持株共栄会	1,101	4.12	—	—
河野正行	1,050	3.93	—	—
日本生命保険相互会社	1,000	3.74	—	—
岡本緑	729	2.73	—	—
株式会社京都銀行	522	1.95	—	—
フシアインベストメント リミテッド	520	1.94	—	—
京セラ株式会社	399	1.49	—	—

所有者別株式数



会社の概要（平成18年3月31日現在）

社名 ムーンバット株式会社
 英文社名 MOONBAT CO.,LTD.
 本店 京都市下京区室町通四条南入
 鶏鉾町493番地

東京本部 東京都千代田区九段北4-1-3
 飛栄九段北ビル4階

支店 東京・名古屋・大阪・福岡・札幌（営業所）
 創業 明治18年3月（西暦1885年）
 設立 昭和16年9月（西暦1941年）

資本金 33億3900万円

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

従業員数 234名（連結）・227名（単体）

事業内容 洋傘・洋品・毛皮・レザー・宝飾品・アクセサ
 リー・帽子などアクセントファッション商品類
 の企画開発並びに販売に関する事業その他事業

ホームページアドレス <http://www.moonbat.co.jp>

重要な子法人等

会社名	資本金 (千円)	主な事業内容
日本洋傘センター株式会社	60,000	洋傘の製造、加工、販売
エムビー情報サービス株式会社	20,000	通信情報処理システムの開発・販売

取締役、監査役及び執行役員（平成18年6月29日現在）

代表取締役・会長執行役員	大島 幸雄	
代表取締役・社長執行役員	中野 誠一	
取締役・常務執行役員	田中 治	事業本部統括担当（兼） 第一事業本部長
取締役・常務執行役員	有吉 計則	東京支店長（兼） チェーンストア本部長
取締役・執行役員	今村 京一	管理本部長（兼） リスク管理・コンプライアンス担当
取締役相談役	岡田 敏彦	
常勤監査役	犬島 友章	
常勤監査役	隈本 友三	
監査役	南部 孝男	弁護士
執行役員	山西 英治	福岡支店長
執行役員	大道 晃	経営企画室長
執行役員	杉岡 善秀	第二事業本部長
執行役員	武内 敏和	大阪支店長